

2022(令和4)年度11月委員会

1. 報告

1. 会長：協議会活動検討会(11/8)について
2. 総務部：令和5年度会長選出、第24期委員募集、館外研修(11/15)、地域懇談会(R5 2/5)について
3. 地域交流部：マルシェ&ハロウィン子どもまつり総括(10/30)、アフタヌーンコンサート(11/5)、地域交流部七館連絡会(12/6)について
4. 事業企画部：健康サロン(11/26)、荻窪寄席(12/11)、防災フォーラム(10/18)アンケート送付、アンケート(フランス料理、朗読教室、首都直下地震)
5. 広報部：わたしのおぎくぼ、ホームページについて
6. 道の愛称p：
7. 荻窪の記憶p：パネル展(12/14～R5 1/16)について
8. 事務局：来年度の予算状況について
9. その他：荻窪地域区民センターの大規模改修工事及び(仮称)コミュニティふらっと本天沼の整備について(地域施設担当)

2. 協議

1. (会長)
2. (総務) 令和5年度会長選出、活動費費用について
3. (地交)
4. (事企) 沓掛いずみ会配布(記憶冊子の部分印刷)について
5. (広報)
6. (事務局)

3. 事務局から

4. その他

- 配布資料
1. 2022(R4)12月、2023(R5)1月予定表
 2. (会長)11月役員会記録
 3. (会長)協議会検討会について
 4. (総務)活動費について
 5. (地交)マルシェ&ハロウィン子どもまつり総括
 6. (地交)アフタヌーンコンサートアンケート
 7. (事企)防災フォーラムSUGゲーム参加者意見まとめについて
 8. (事企)アンケート(フランス料理、朗読教室、首都直下地震)について
 9. (事企)荻窪の記憶P パネル展企画書
 10. (事企)荻窪の記憶P 打ち合わせ結果(11/18)
 11. (広報)協議会の行事・イベント・講座等の広報部担当一覧表
 12. (広報)ホームページ(プロジェクターにて説明)
 13. (広報)わたしのおぎくぼNo.360(12月1月号)
 14. (広報)わたしのおぎくぼNo.361(2月3月号)レイアウト案

	午前	昼休み	午後
1 木			<事業企画部>堀川 大人のワイン講座 2/2 講師：上田紀子 料理室 13：30～15：00
2 金	<事業企画部>熊谷 腰痛スッキリ体操 1/3 講師：高橋晃史 10：00～12：00 体育室		
3 土			
4 日			
5 月			
6 火	部会休み 杉並区区制施行90周年記念事業 原水爆禁止署名運動パネル展 ～11日（日） ロビー		
7 水			
8 木			
9 金	<事業企画部>熊谷 腰痛スッキリ体操 2/3 講師：高橋晃史 10：00～12：00 体育室		
10 土			
11 日			<事業企画部>染谷 荻窪寄席 講師：金原亭馬玉、翁家和助 15：00～17：00 第1・2集会室
12 月	(休館日)		
13 火	部会10：00～ 第1・2集会室 ◎「区広報紙」2/15号原稿事務局へ切 <総務部>茂木 協議会活動検討会 11：30～ 第1集会室		<事業企画部>（記憶P）恵羅、松崎 荻窪の記憶V パネル展準備 <総務部>大矢・船津 役員会 13：00～ 打合せ室
14 水	<事業企画部>（記憶P）恵羅、松崎 荻窪の記憶V パネル展 「荻窪100年の歴史」 ～1月16日（月） ロビー		
15 木			
16 金	◎「区広報紙」1/15号校正日 <事業企画部>熊谷 腰痛スッキリ体操 3/3 講師：高橋晃史 10：00～12：00 体育室		
17 土			
18 日			
19 月			
20 火	(館内整理日)		
21 水			<総務部>大矢・船津 委員会 13：00～ 第1・2集会室 部会14：30～ 第1・2集会室 ◎「区広報紙」12/15号校正日
22 木			
23 金			
24 土			
25 日			
26 月	(休館日)		
27 火	部会休み		
28 水	(休館日)		
29 木	(休館日)		
30 金	(休館日)		
31 土	(休館日)		
	午前	昼休み	午後

2023年1月予定

		午前	昼休み	午後
1	日	(休館日)		
2	月	(休館日)		
3	火	(休館日)		
4	水			
5	木			
6	金			
7	土			
8	日			
9	月	(休館日) (成人の日)		
10	火	部会休み		
11	水			
12	木	<事業企画部>弘中 自然探訪③ 善福寺池の四季 講師：星野義延・順子 集合：善福寺池上の池ボート乗り場		
13	金			
14	土			
15	日			
16	月			
17	火	部会10:00～ 第1・2集会 ◎「区広報紙」3/15号原稿事務局 切 <総務部>大矢 地域懇実行委員会 11:30～ 第1集会室		<事業企画部>惠羅 荻窪の記憶Ⅴ パネル展片付け
18	水			
19	木			
20	金	(館内整理日)		
21	土			
22	日			
23	月	(休館日)		
24	火	部会10:00～ 第1・2集会室 ◎「区広報紙」2/15号校正日 <総務部>茂木 協議会活動検討会 11:30～ 第1集会室		<総務部>大矢・船津 役員会 13:00～ 打合せ室
25	水			
26	木			
27	金			
28	土			
29	日			
30	月			
31	火			<総務部>大矢・船津 委員会 13:00～ 第1・2集会室 部会14:30～ 第1・2集会室 広報紙「わたしのおぎくぼ」No.361 2月3月号発行配布
		午前	昼休み	午後

日時：2022年11月22日（火）11時～12時45分

場所：第2集会室

出席者：茂木会長（記録）、萬副会長・地域交流部長、恵羅副会長・事業企画部長、横尾広報部長、大矢総務部長；伊藤会計監事、桑山会計監事；吉川事務局長、岩井事務局員、鈴木事務局員

1. 報告

1. 会長：協議会活動検討会（11/8）について；配布メモに沿って説明。1月に予定されているという荻窪センター改修計画に即応するよう年初には検討会の結論を準備したい。11月の会では、当面の課題と施設面での要望が出されたが、大きなビジョンのようなものは少なかったもので、そのあたりを補強したものにしたい。
2. 総務部：令和5年度会長選出関係（11月18日午後4時半に、吉川局長立会のもと、会長、大矢部長が開票。自薦なし、他薦については23名推薦有権者のうち14名が提出、恵羅、杉原、萬の3氏を推薦、週末に会長より意思確認の結果、杉原・萬両氏が辞退。これにより恵羅氏が会長候補となり29日の委員会にて信任投票とする予定。このことを委員全員にメール連絡を行うことで了解）
第24期委員募集の段取り（18日・25日の天沼・荻窪地区町会長会議での依頼を終えたところで関係先に募集依頼送付、その他広報も続ける予定）
館外研修（11/15）の報告（見学後、参加者が会しての久々の昼食会を行ったが意思疎通の場ともなり有益と感ずる場であった）
地域懇談会（R5 2/5）；開催日を遅らせたのは、天沼地区のスケジュールに合わせて参加がしやすいようにしたもの。社協の中島課長と協議を予定。
3. 地域交流部：マルシェ&ハロウィン子どもまつり総括（10/30）；ハロウィン関係は今年度も成功（昨年度のような混雑は避けられた。ファミリー層がそちらにターゲットをしていることがあってか、マルシェ、植木の荷動きはやや少なめ。綿菓子人気、子供に操作させることの是非、2台目のレンタルを考へてもよいかなど検討課題。ポップコーンも人気、作るのに追いつかず制作苦勞。「木のおもちゃで遊ぼう」は成功、「子育てに関する協議会」は今後も継続したいとの意向。アフタヌーンコンサート（11/5）；好評。人数も予想どおり。
4. 事業企画部：健康サロン（11/26）、荻窪寄席（12/11）、アンケート（防災フォーラムフランス料理、朗読教室、東大アプリ）について。振り返りとしては、料理講座：試食をしたかったという声が見られた。朗読教室：今年も好評。継続を希望というフィードバック。「東大アプリで考える首都直下地震」：期待の大きい内容だけに、改善点も散見された。
5. 広報部：「わたしのおぎくぼ」No.360の最終状況、次号No.361の企画紹介と4月以降のスケジュール紹介欄へのリマインド、ホームページについては進捗状況報告。
6. 道の愛称 p：

7. 荻窪の記憶 p : パネル展について

8. 事務局 :

9. その他 :

2. 協議

1. (会長)

2. (総務) 令和5年度会長選出について(報告事項で紹介のとおり)

3. (地交)

4. (事企)

5. (広報)

6. (事務局) (総務) 令和4年度予算執行との関係で活動費逼迫の認識と対策について
逼迫理由: コロナが総じて小康状態にあるところから、予算に掲げた事業が順調に推移(過去2年度はコロナで事業実施ができず予算を一部返上)、かつ再開されたイベント等事業実施への委員の意欲も高く、熱心な活動の結果、早期に逼迫の状況に至った。その意味ではこの時期、調整を図ることは已むを得ないと考えられる。

対策: ①12月、1月については活動実態を踏まえコンパクトな予定とする、②活動費単価を11月より1,000円とする(建前の「交通費程度」の表現に比し、単価はやや高めであること、本来協議会の設置の趣旨に照らすとボランティア活動が基本にあると考えてもよく、圧縮の余地はあるとみてもよい)、③年度末に向けて様子を見て活動予定などさらなる調整を考える。以上を委員会に諮り実行に移す。

3. 事務局から

4. その他

- 配布資料
1. 2022 (R4) 12月、2023 (R5) 1月予定表
 2. (会長) 協議会検討会について
 3. (地交) マルシェ&ハロウィン子どもまつり総括
 4. (地交) アフタヌーンコンサート総括
 5. (事企) 防災フォーラムSUGゲーム参加者意見まとめについて(10/18)
 6. (事企) アンケート(フランス料理、朗読教室)について
 7. (事企) 荻窪の記憶P パネル展企画書
 8. (事企) 荻窪の記憶P 打ち合わせ結果(11/7、11/11)
 9. (広報) 協議会の行事・イベント・講座等の広報部担当一覧表
 10. (広報) ホームページ
 11. (広報) わたしのおぎくぼ No.360(12月1月号)校了原稿

第3回協議会活動検討会(討議内容メモ)

2022.11.21

(文責：茂木)

第3回検討会、11月8日(火)、午後1時より(第1集会室)

(1) 当日参加者：茂木、萬、横尾、大矢、伊藤(監事)、船津、杉浦、小野、上田、

香取、熊谷、西村(順不同、敬称略)

オブザーバー：事務局吉川、岩井

(2) テーマ：「協議会としてわれわれは何をしたいのかを考える」

(3) 問題提起の背景

当然、関わっている各部の現状の活動の振り返りがベースになると思います。こういうテーマは抽象的で難しい(抽象的な方向性の提案も勿論、大歓迎)ですが、どういった活動に集中やシフトしたらよいかなどを考えたい。

そのための前提条件がどうなるのか。

1) 改装後の建物の内部施設配置、2) 改装後の運営形態(指定管理者導入 or not)、3) 改装期間中の活動の場、4) これらを受けて新委員への呼びかけ方など。

1) についてはまだ未確定ですが、要素設備・施設の改善中心だろうと思われること(逆にユーザーである我々から改善提案をすべきでしょう)。

2) 当初懸念していた競合する指定管理者の導入は、他の協議会での実績(並存する大規模ないし異種機能を並存していることが導入の大きな理由)、1) にあげた整備の方向から考えてあり得ないとみるのが合理的と思われます。逆にこういう部分は業者に任せた方がよい(協議会の長期的人的制約などから)という場合があれば提案をすべきでしょう。その意味で今のままの状態、協議会としての活動の深堀、再検討の方が重要と思われます。

3) これは大問題で、再来年の話とはいえ、早くこうなる、これしかないということを決めたいところです。29日の委員会の場で区から本天沼集会所の扱いの説明があると思いますので、それらとも関連します。

4) 延長していただく22期の方にとって今後の活動がこれまでと違い、適応すべき条件が多くなりますが、新しい24期の方とともに、3) に適応しながら、あるべき活動の基本線を提示してなんとか参加を促す以外にありません。私は紙媒体やウェブを使った情報発信、出前講座の充実などへのシフトなどもあるのではないかと感じています。

(出てきた意見)

- ・新委員には協議会の活動について十分なオリエンテーションをして欲しい。
所属はそれを踏まえた本人の選択も参考に決めていく。
- ・インターン制度があってもよい。
- ・PTA メンバーの取り込みについては、本業をもっているひが多いので、それでも参加できるという協議会側の工夫、インターン制度なども含め、気長な努力が必要。
- ・協議会が「ゆるい」組織であることは、企画面でやりたいことがやれるようにするという意味でいえても、事業となった場合、リーダーシップのもとでの組織的運用(責任を伴う)、メンバーに義務が発生することはやむを得ないし、そのくらいの覚悟が必要。
- ・上記を可能にするような委員間の交流が必要(コロナが難しくしてきた)。
- ・お互いが知り合い、実行面でも成果を上げるためには、少なくとも3期6年は必要なのではないが。
- ・事業遂行中は苦しいが、メンバー間での情報共有が必要で、それを旨としてきた。
- ・得意なことが生かせる組織でありたい。
- ・委員がいてこそで、理想と現実の乖離は大きい。来年度人員の確保を是非願いたい。
- ・改修に際して実現して欲しい施設面の整備
 - イ. WiFiの完備
 - ロ. 障害者用トイレ設置
 - ハ. 屋上の利用を可能に
 - ニ. 椅子、机、掲示パネル等、上下移動簡便化の追求
 - ホ. 調理室があることは貴重、必要な整備を施す。
 - ヘ. 地下体育室のホール化(体育室機能は他施設に譲り)
 - ト. 使える災害拠点としての整備
 - チ. 可能なレイアウト変更での機能改善

令和4年度 委員活動費執行状況表

年間予算額	¥3,871,500
-------	------------

月	当月執行額	執行累計額	予算残額	執行率
4月	¥297,000	¥297,000	¥3,574,500	7.67%
5月	¥367,500	¥664,500	¥3,207,000	17.16%
6月	¥436,500	¥1,101,000	¥2,770,500	28.44%
7月	¥369,000	¥1,470,000	¥2,401,500	37.97%
8月	¥298,500	¥1,768,500	¥2,103,000	45.68%
9月	¥495,000	¥2,263,500	¥1,608,000	58.47%
10月	¥504,000	¥2,767,500	¥1,104,000	71.48%
11月		¥2,767,500	¥1,104,000	71.48%
12月		¥2,767,500	¥1,104,000	71.48%
1月		¥2,767,500	¥1,104,000	71.48%
2月		¥2,767,500	¥1,104,000	71.48%
3月		¥2,767,500	¥1,104,000	71.48%

マルシェ & ハロウィン子どもまつりの実施結果について（案）

実施：令和4年10月30日（日）10：00～12：30 天候：快晴 来場者約500名

実施体制：委員18名、OB4名、荻窪高校（生徒5名 教諭4名） 事務局3名

総括

1. 昨年度、コロナの感染状況から6月開催予定だった「センター祭り」の規模を大幅に縮小し、名称も「マルシェ in 荻窪地域区センター」として10月に実施したが、当日（10/31）がハロウインの日であったことから、ハロウィン仮装撮影会を組み込んだ内容とし、従来（センター祭りなど）の来場者に加え多くの子供連れの若い親子で大変な賑わいのイベントとなった。
2. 今年度はこの成功をベースに、名称も「マルシェ & ハロウィン子どもまつり」として、マルシェブースの拡大や、昨年混雑したハロウィン撮影会場は2Fの1、2集に移し特設スタジオを設けて実施した。
3. また、9月実施の「アート展」に高校シリーズ第1弾として荻窪高校美術部作品を展示。その縁で荻窪高校に、多数の区民の来場が予測される当祭りへの参加を提案したところ快諾となり、生徒会のボランティア活動として生徒会長など5名の生徒と、副校長以下4名の教師の参加となった。初めての経験で最初は、やや緊張とぎこちなさがあったものの、時間の経過とともに普段の元気が戻り、OBの活動に勝るとも劣らない貴重な戦力として活動してくれた。終了時には達成感からくる笑顔で帰路に。学校側の後日の反応は今後もセンターとの関係を継続させてほしいとの感触を得ている。
4. 今回は2回目のイベントとして、ねらいとした子供連れの若い親子がセンターに集い、協議会の活動を知ってもらう機会として成功したといえる。
しかし、ブース毎の状況をみると1回目の反省から改善を加えレベルアップしたものと、イベントタイトルの「マルシェ & ハロウィン子どもまつり」について来場者がイメージし期待する内容と、開催内容がマッチしていたかどうか検討を要するブースもあり、今後、さらに充実したイベントとして発展させるための課題としたい。

各ブースの結果と今後の検討課題

部門	実施事項	成果	課題、備考
ハウイン 撮影コーナー	会場を1F談話コーナーから、2F1, 2集に移動し ①撮影スタジオ②ウエイティング会場③受付番号札④外での整列とワンウェイコントロールを徹底撮影3分以内の表示 諸対策：待ち時間クイズ、スポットライト、BGM	撮影60家族が限度とみていたが96家族の希望全家族が撮影完了、 お土産も全子供に配布できた	お土産目当てではなく、 仮装で撮りたい家族の来場
木のおもちゃで 遊ぼう	今年度初めての試みとして開催 実施主体は子育てグループ「ホットサロン」で3歳未満の子育て家族が参加。1時間ずつ2グループに分けて実施。 協議会は場所の提供と広報でサポート	参加人数 (10:15~11:15) 14組 (11:30~12:30) 19組合計33組 月齢別参加人数0歳から7歳まで38人参加。 安全で、楽しく遊べたと好評	今後も子育てに関する協議会のサポート活動の候補か
綿菓子	マルシェとして今回初 子供に自ら作らせることで大人気、一時玄関近くまで列ができた	1本50円 売り上げ：6850円/137本	①子供に作らせることの可否 ②大行列解決策1台レンタルし2台にする
POPコーン	マルシェとして今回初 大人気でウエイティング者多数、急遽、臨時の作成場を料理室で対応	1袋100円 売り上げ9700円/97袋	袋が大きすぎた。 小袋で50円が良い
飲料	200パック（お茶、オレンジ、グレープ、リンゴ）各50パック用意	1パック70円で販売 売り上げ8400円/120パック 残80パック	お茶とオレンジが大量残 (年配者が少なかつたためか)

各ブースの結果と今後の検討課題

部門	実施事項	成果	課題、備考
野菜	<p>255点出品、今回7地区11生産者に売り場を拡大して実施</p> <p>応援体制 生産者:2 区都市農業係:1 JA:1</p>	<p>オープン時、センター祭りのような長い列ができる賑わいがなく、静かな出足でやや寂しい売り場展開となった。</p> <p>11時過ぎには販売完了を予測していたが、12:30の終了時に残量（キャベツ10、大根6）が生じた</p> <p>売り上げ：59,350円</p>	<p>・残量は委員の協力により処理</p> <p>・返品等</p> <p>①柿→熟し状況が過度なもの3袋返品</p> <p>②聖護院大根のクレーム</p> <p>菓が入り変色あり（現物確認）返金処理300円（JAへ返品処理）</p>
苗木配布	<p>合計150本</p> <p>区100本（ブルーベリー40、クリスマスローズ20、オリーブ20）</p> <p>都50本（ブルーベリー20、シャクナゲ20、オリーブ10）</p>	<p>行列が前年（10/31マルシェ in 荻窪地域区民センター）および今年（6/5センター祭り）では、玄関前まで伸びていたが、今回は建物の中間程度で終わり、込み合うこともなかった。</p> <p>12:30終了時、人気のブルーベリー24本、シャクナゲ4本の残が生じた。</p> <p>募金額20,952円でセンター祭り時17,158円を超えた</p>	<p>①6月にセンター祭りで150本実施したばかりで、too muchの感か？</p> <p>②庭のあるリピーターが主な来場者か？</p> <p>③ハロウィン来場者はマンション居住者が多いか？</p>
外部販売			
花	店頭での農家による販売	売り上げ：22,200円	生産者が期待した販売実績にはならなかった
和菓子・荻窪館	マルシェブースでの業者による販売	売り上げ：約30,000円	3業者とも期待以上の販売実績次回も是非参加したい意向
クッキー・picnic	（クッキー類販売予定のドンマイ工房、コロナ感染で急遽ピクニックに変更）	約17000円	
パン・ぶくぶく		約30000円	

(マルシェ&ハロウィン子どもまつり)アンケート集計

アンケート用紙 回収枚数 39

参加者 約 500名

2022.10.30 実施

1. 二回目を迎えたこのイベントはいかがでしたか

① 面白い 27名 ② 普通 11名 ③その他 0名 無記入 1名

2. このイベントをなんで知りましたか

① ちらし、ポスター 25名 ② 口コミ 0名 ③ 広報すぎなみ 12名 ④わたしのおぎくぼ 2名
⑤ その他 3名 (その他の内訳:子育てプラザ、友人、通りすがり) ⑥ 無記名 2名

3. あなたは次のうち何を楽しみましたか(複数回答可)

① お花販売 3名 ② 苗木配布 12名 ③ 杉並産新鮮野菜販売 12名
④出店コーナー(パン、和菓子、ケーキ、クッキー、綿菓子、ポップコーン) 28名
⑤ハロウィン撮影会 15名 ⑥ 親子で木のおもちゃで遊ぼう 3名

4. コロナ対策

① 満足 16名 ② 普通 20名 ③ その他 3名 (「しりません」2名、「?」1名)

5. このようなイベントは

① 継続すべき 37名 ② 必要ない 0名 ③ どちらでもない 2名 ④ その他 0名

6. ご意見要望、ご感想

・子どもが楽しめました ・もう少しお店の種類が ・また来たいです.. 2名
・色々なお店がありとても満足した ・綿菓子の待ち時間が長い ・まんぞく!
・どれも混んでいるので子連れにはツライ ・ならんでますねー
・いろいろなやさいは、うれしいです 入口出口が別になると良い
・とても楽しかった..3名 ・3人の列が混乱している、流れを作って
・大変楽しい時間でした ご回答者 計16名

ご回答者の年代

10代..3名 20代..0名 30代..12名 40代..7名 50代..3名
60代..3名 70代..4名 80代以上..1名 その他..8才 4名 9才 2名

ご回答者お住まい

荻窪..20名 南荻窪..9名 宮前..2名 上荻..2名 天沼..1名 阿佐ヶ谷..2名
今川..1名 井草..1名 その他区内..1名 杉並区以外..0

以 上

令和4年11月29日 委員会資料

「地域ふれあいアフタヌーンコンサート」の総括

1. 実施：令和4年11月5日（土） 13：30～15：00
2. 概況：第35回荻窪音楽祭に連動、自主企画グループに参加して8回目のコンサートを実施。音楽祭の中心をなすクラシックを始め当センター来場者の要望にマッチした、気軽に楽しめる軽音楽を盛り込んだ演奏会として実施した。
来場者アンケートでは「素晴らしかった」「満足した」「また聴きたい」が圧倒多数で高評価のコンサートとなった。
3. 出演者
 - (1) 第1部 「吉久亜紀トリオ」 13：00～14：10
バイオリン、吉久亜紀 ベース、三浦トオル ギター、中鉢洋夫
 - (2) 第2部 「あきから」 14：20～15：00
ボーカル、森下亜希子 バイオリン、吉久亜紀 チェロ、富樫亜紀
4. 来場者：先着60名（70名）
* 13：30分の時間内に70名来場 10席補助席
5. コロナ対策：
検温、手指消毒、マスク常時着用、 休憩時間窓明け15分間
6. その他：
 - (1) 音響：昨年実施で課題となっていた音響について、マイク、スピーカーなどの貸与に委員、サポーターの協力があり、プロの演奏に耐えられる機器が揃い、音響効果が素晴らしいコンサートとなった。
 - (2) 照明：センター施設系の協力により、会場は暗く、演奏者にスポットライト直写のメリハリの利いた照明をしたことにより、コンサートらしい雰囲気が醸し出せた。
7. 来場者アンケート：別紙

以上

地域ふれあいアフターヌーンコンサート」アンケート

参加者

2022.11.5

先着順 60名+補助席 10名計 70名 アンケート回収56

1. 今回のコンサートの催しは何で知りましたか

① 広報すぎなみ・・・35名 ②わたしの荻窪・・・12名 ③チラシ・・・14名

④協議会ホームページ・・・1名 ⑤出演者からの案内・・・2名 ⑥その他・・・3名
(一部複数回答)

2. 今回はクラシック演奏に加え、映画音楽など親しみやすい曲の演奏会を企画しました その内容について

① 良かった 55名 ②普通・・・1名 ③クラシック中心が良い・・・1名 ④その他・・・0名
(一部複数回答)

3. 演奏の感想をお聞かせください

(1) 吉久亜紀トリオ演奏

① 良かった・・・55名 ②普通・・・0名 ③その他・・・0名

(2) あきから演奏

① 良かった・・・49名 ②普通・・・2名 ③その他・・・8名
(一部複数回答)

4. 自由にご意見をお書きください

感想

- ・ライブは最高です、ボーカルのある企画を毎年お願いします
- ・素晴らしい演奏に心地よい昼下がりをありがとうございました
来年も楽しみにしています、元気をいただきました！！
- ・すごくよかったです、選曲もよかったです
- ・素晴らしくそろってました
- ・1部のバッハのプレリュードで「オッ」と思わせて、ジャズとのコラボレーション「G 線上のアリア」でのめり込ませ、民謡メドレーで懐かしい思い出が出てきました、心の底楽しめました
- ・1部も2部もトリオとして素晴らしいと思います ボーカル最高！
- ・ビバルデー+ビートルズ+亜希子さん=∞ 1.2ともに選曲もよく考えられていると思います
- ・大変良かった 熱心で力強い演奏や歌声に大変感激しました
- ・楽しいMCもありこんな素敵なコンサートに参加でき感謝大変元気をもらいました
- ・久しぶりのライブで楽しく、嬉しいものでした
- ・聴力が低いのでベース、チェロが心地よくよかったです
- ・特にボーカルが素晴らしかった
- ・楽しい時間をありがとうございます
- ・スタッフの皆様お疲れ様です
- ・音楽はやっぱり素敵
- ・1部の選曲がバラエティーがあってよかったです、まったく飽きない編成ですし、アレンジもとてもよかったです 民謡ってかっこいいですねー！2部もまた雰囲気が変わって素敵でした
お酒でももみながら聞きたい感じでした(笑) 若干ぐだぐだのMCも楽しかったです
- ・曲目の選曲も楽しく大変良かったです

- ・心豊かに良い時間を過ごさせていただきました ありがとうございました 来年もお願いします
 - ・華やかな演奏が素敵でした！ありがとうございました
 - ・ギターすごく新鮮で楽しかった
 - ・中鉢さんよかった
 - ・音楽のジャンルが豊かで十分楽しめた やはり以前に聞いた曲が流れてくると嬉しい気持ちになる曲が多く good！身近でコンサートを企画して頂き感謝です
 - ・とても充実したコンサートだった、内容が良かったので次回は友達を誘いたい
 - ・クラシックにとどまらず、ジャズ、映画音楽、民謡などいろいろなジャンルが聞けてとても楽しめました 申し込み、予約をしなくてもよいので参加でき助かりました
 - ・バイオリンで聞く民謡が良かった
 - ・ギター、ベースの音色が良かった
 - ・チェロ演奏が良かった
 - ・あきメドレーもよかった
 - ・大変良かった
 - ・是非、ぜひまたやってほしいです
 - ・G線上のアリアがあったので遠くから来たのですがクラシックをアレンジしてあってとても楽しかったです「鮫」も好きです！あきからの「話しすぎた私の記憶」感動しました
 - ・親しみのある曲目でよかったです クラシックはほかの会場でも聞けるのでポップスをこの会場の特色としてやっていただけたらと思います ありがとうございました
 - ・親しみやすい曲が多く演奏も情感がこもっていて聞き入りました ボーカルの亜希子さんの声素敵！♡
 - ・バンドネオンでしか聞いたことがなかったピアソラの曲珍しかったです♡！
- 民謡の楽曲もバイオリンなどで聞くと新鮮でした 久しぶりに生演奏が聞けて感動しましたまたお願いします
- ・来年もぜひお願いします
 - ・最高に良かったです又機会を作ってください
 - ・「あきから」カッコよかったです
 - ・大変すばらしかったです 良い秋の一日になりました ありがとうございました
 - ・すばらしい！長く続くように！
 - ・おしゃべりが楽しいのはこのような小さなコンサートだから大いにおしゃべり聞かせてください
 - ・民謡がこんなにも優雅になるなんて、良かったです
 - ・映画音楽を久々に聴かせていただいて、生で聞く音は体の芯まで伝わりました 特にバイオリンの音色は素敵でした ありがとうございました
 - ・介護の合間に楽しいひとときをありがとうございました とても楽しかったです 来年も是非お願いします
 - ・映画音楽、G線上のアリアは親しみが感じられてよかったビートルズ、日本民謡もよかった あきメドレーは知っている曲ばかりで楽しかった
 - ・5歳の娘がバイオリンとギターに興味を持っていて「行きたい」と言うので、子ども向けではないかもと思いつつ来ました 娘が「すてきー！！」と喜んでいたので良かったです 端のほうの席を確保していただけて..ありがとうございました
 - ・吉久亜紀トリオ:民謡のアレンジが斬新でよかった 全体を通して楽しめました
 - ・楽しみにしていました 間近で演奏、歌を聴くことができ感動です

- ・G線上のARIAはこれまで聞いたことのないユニットで新鮮な気持ちになり「鮫」はとても楽しく映画音楽は懐かしく聞かせていただきました
- ・全部よかったのでこれからも是非コンサートを続けてほしいと思います
- ・バイオリンでクラシック以外の曲を聴くのは初めてでしたがとても楽しかったです

要望

- ・英語でロックを聞かせてほしい
- ・杉並高校ブラスバンドも呼んでほしい
- ・来年も区民センターにて無料でやってほしい

苦情

- ・アレンジしたらアレンジ曲と書いてほしい
- ・演奏開始後椅子を増やしていましたが余計な音がしてよくなかった
- ・定刻を15分もオーバーしたのは困る
- ・会場のある場所の交通の便が良くない、友人を誘えなかった本日は自転車できました

あなたの年齢は

10代未満・1名	20代・1名	30代・1名	40代・2名
50代・7名	60代・14名	70代・26名	80歳以上・9名

お住まいは

荻窪・19名	南荻窪・7名	宮前・4名	高井戸・3名	上荻・3名
天沼・3名	本天沼・清水・	浜田山・0名	成田・6名	

その他の区内

- ・松庵、上井草、大宮、和泉、善福寺、阿佐ヶ谷、高円寺、和田、下井草各1名
- ・堀之内、西荻北各2名

その他区外

文京区1名

ありがとうございました

SUGカードゲーム参加者の意見

1. 日曜日、午前5時25分 杉並区に「震度7」の激震 今までに経験したことがない 激しい揺れである。
 - ・一部で同時多発火災発生
 - ・家屋多数倒壊
 - ・インフラの断裂多数
2. 火曜日の朝、2日が経過し救援所の運営も少し落ち着いてきた
自宅避難していた人たちから、救援所に支援を求める声も聞こえ始めた。
3. 近隣で一人住まいの障害者(視覚・聴覚・知的・車いす…)の方の姿が見えないので心配だ、との報告が避難者からありました。救援所として何か対応しますか。

参加者意見

- ・安否確認は必要だが、掲示をするのは個人情報を守る観点から好くない。
 - ・理由があつて救援所に来られない場合もある。
 - ・情報の整理と周囲を含めた情報内容の確認が先決。
 - ・民生児童委員と各救援所が共有する助け合いネットワークの「名簿」を活用し、救援支援部と連絡協力して安否確認(適切に更新された名簿に基づく)。
 - ・聴覚障害者は掲示板、視覚障害者は声掛けで探す。
 - ・検索チームを出すには現有勢力次第。
 - ・近隣の住民に情勢を聞く。
 - ・要配慮者を含め定期的に住民情報を集めている(松浜町会)。
 - ・安否と共に、防災グッズを準備しているかを確認する。
4. 発達障害(感覚過敏があり、集団の中に長時間いることはむずかしい)の方が、家族と避難してきました。個室またはテントで仕切れる場所を希望しています。

参加者意見

- ・症状は人ごとに違うから一律に対応を決められない。
- ・隔離されるだけではつらい場合もある。当事者の希望を尊重する。
- ・クールダウンのための場所(共通の部屋)を設ける。
- ・障害者を受け入れる前提条件(場所、設備、…)が分からない。
- ・障害者や弱者への対応マニュアルの有無は?
- ・教室・個室・トイレ・水回り、とかを震災訓練時に質問することが重要。
- ・在宅避難が一番良いので、耐震化された家に住むのも大切・
- ・予め、助け合いネットの支援プランに対応方法への希望事項を書いておく。
- ・安全であることを確認した上で、自宅避難を出来るだけ選ぶ。
- ・第二次救援所に個別スペースを確保する。
- ・課題 狭小な敷地ではテントを張るのが難しい。
- ・杉並区 HP なら自分のスマホで、すきな時に情報確認できる。
- ・事前に民生委員等に伝えておくと良いが、ヒアリングの際に遠慮される事も。
- ・避難先体育館等で明るくないと眠れない人をどうするのか?
全体と個別のバランス
- ・同じ障害を持つ者同士、それぞれの障害を承知しているので譲り合えることもある。

- ・周りの人に反応してしまうので基本は、自宅避難。

5. 視覚障害者の方から、避難所全体のレイアウトが分かりにくく、夜中に一人でトイレへ行くようなとき、経路がわかるか不安だとの申告がありました

参加者意見

- ・視覚障害者には、他の方法を考える必要があるが、避難所も分かりやすい工夫、周りの協力が大事
- ・経路確保を徹底したうえで、経路を覚えてもらうこともできるのではないか。
- ・視覚障害者には、他の方法を考える必要があるが、避難所も分かり易い Layout 図が必要。
- ・障害の種類が分かるバンダナを身に着けていただく。
- ・声掛け。放送の多用
- ・それ以前に、民生委員などを中心に普段から見守る関係を築く。向こう三軒両隣の間関係。災害時、ボランティアの要請をし易くなる。
- ・トイレの近くに場所を確保。
- ・協力のボランティアに救援所のベストをつけてもらう。

6. 避難所に車椅子の子どもを連れた親子がやってきました。昼夜を問わず1時間に1回程度、痰の吸引が必要なため、電源(コンセント)の近くにいたいと希望します。希望が叶えられますか？

参加者意見

- ・できることは限られるので、救援隊本部で対応をお願いするしかない。とはいえ、とりあえず助ける算段をしないわけにはいかない。
- ・バッテリー、蓄電池の充電(充電機器も含め)は重要ポイント。
- ・重度な障害者に合わせて設備は考えるべき。
- ・避難所運営の障害者 manual は当事者を含めて作成するのが一番だが、世間との関係で家族とかが表に出ない場合は、仲介者として障害者支援団体や IT を活用・利用するのも一助。
- ・備蓄品一覧 D 欄にある「発電機」を活用する。
- ・受入れ前準備、場所の確保、案内。周囲の一般区民、特に健常者の理解。
- ・防災費用で全家庭に発電機を提供してはどうか。
- ・用意可能だが、皆我慢しているので「特別扱い」は不公平との不満が出る可能性あり。
- ・電源タップを数多く準備しておくべき。
- ・相互に譲り合う、優先度をつける等の配慮。
- ・医療に関わることなので対応可能な施設に移送。
- ・保健室を利用する。
- ・発電機を用意(ソーラー発電も)。
- ・病院(緊急医療救護所)との連携。

7. 重度の認知症と思われる方が、避難所の入り口近辺を徘徊していると報告がありました。ご家族の方も見当たらないようです。

参加者意見

- ・ 認知症の対応は経験者でないと難しいので、事前に対応するボランティアを準備することが必要。
- ・ 徘徊者は地元民とは限らない。声掛けして、收容し、対策本部へ連絡。
- ・ 徘徊？ 認知症単独避難者。まずは安全確保。避難所に知人がいるかも。
- ・ 外部への出入り口を夜間は閉める、来所者はコールボタンで対応。
- ・ 事前に想定してボランティアを募集しておく。
- ・ 避難所受付にて対応可能なボランティアを登録し、有資格または知識理解あるボランティアによる対応。
- ・ 掲示板などでご家族を探す。
- ・ 優しい声掛け。
- ・ 安心して過ごして頂ける環境の提供。

8. 聴覚障害の家族が避難しています。食事の案内など情報が伝わらず、その家族はいつも出遅れて列の後ろのほうに並んでいます。

参加者意見

- ・ いろいろな道具・手段によって情報提供を丁寧にする。
- ・ 周りの協力を期待するとともに、必要な援助を頼む。
- ・ 情報伝達手段としてピクトグラムを活用する。
- ・ 情報は簡潔で分かりやすい言葉で発出する。
- ・ プラカードやスマホの活用で、連絡事項を知らせる。
- ・ 障害者・弱者は別の個室、教室に收容されている場合は、食事などは配給してあげる。
- ・ 聴覚障害バンドナの着用により、自然に周囲の支援が期待できるのでは。
- ・ ホワイトボードなど活用し筆談、ジェスチャーを活用する。
- ・ 神明救援所では住民が予めグループ分けされており、そのリーダーには要配慮者の情報は伝えておくことになっている。
- ・ 聴覚障害者は避難所配食行列で後ろになる。周囲が手伝う。
- ・ 認識しやすいようにバンドナを活用（障害タイプ別に色で識別）。
- ・ 聴覚障害者にはアンプルボードの活用。

9. 車いす生活です。段差へのスロープの設置、体育館などでの移動スペースの確保、誰でもトイレの設置など希望されています

参加者意見

- ・ この問題は社会的かつ日常的な問題で、行政が解決すべき問題である。
例えば、体育館の段差があった場合は、問題提起は震災救援所の責任で代替案を考えておくべき。抜本的解決は、行政での問題。
- ・ 一階、トイレの近くが望ましい。
- ・ スロープの先に障害物がないように。
- ・ 体育館等の避難所にはエレベーターがあっても必ずスロープをつける。
- ・ 普段でも不自由。ましてや緊急事態では。自衛するほかない。
- ・ 障害者個々にニーズは異なる。手段を選べるように準備する。
- ・ 救援所ではスロープなど事前の準備をしておくことが大切。

10. 次の課題について、時間の限り話し合ってください

①食物アレルギーの対策は

さらに「豚肉を食べられない外国の方」への対応

参加者意見

- ・炊き出しでは使用した材料の明記が必要。
- ・自己管理・自己申告が前提。
- ・ペットのアレルギーもある。ペットは人と離れたエリアに場所を確保。

②震災救援所では

障害者の受け入れについてどこまで準備していますか？

障害者としてはどのような準備をしてほしいですか？

③在宅避難している人をどう把握し、どのように支援しようと考えていますか？

参加者意見

- ・避難所でもある程度は備蓄が必要だが、原則は常用薬と同じように患者には色々な症状の方がおり、その患者さん自身での備蓄・準備が必要。
- ・在宅避難でも「避難カード」を避難所まで行って記入しなければならないという現状。
- ・助け合いネット登録者は事前に記入して用紙を持っていてはいけないか。
- ・家の外に貼り出す「在宅避難しています」カードは、外から分かりやすい反面、それ以外の家に泥棒を招く。
- ・在宅避難者に情報を伝える方法の検討（回覧板？）。
- ・平時から地域見守り隊の活動や近所のネットワークの構築。

全般的なこと

- ・どういう立場で考えるかで対応が異なってくる。
- ・普段の救援所連絡会では考えていない状況ばかりで、今後考えていかななくてはいけないと思う。
- ・その場で対応しきれないことも多く、やはり地域の状況をもとに事前に対応を考え、設備を備えておくことが必要。
- ・質問の設定が少し大雑把？
- ・住民を含め、地域で防災をもっと意識してほしい。
- ・区民センターは二次援助所で専門家はいないが、東北大震災帰宅困難者には、役に立った。
- ・簡易トイレは健常者でも使用が難しく平常時から慣れると良い。
- ・災害時はボランティアもまず自分、家族の命優先。
- ・NPOで災害ボランティアではお宅の片付けや話し相手も。
- ・桃二小避難所には医師がいる。
- ・救援所運営は、様々な人の意見を入れた方が良い。
- ・提供された避難所登録書は、字が小さいので拡大して使用する。
- ・安否確認など個人情報进行掲示する際は、必要最低限の情報に限定する。
- ・区役所の決定判断より避難所の自主性に任されている。

- ・小さい区域ごとで、顔見知りになろう。普段から挨拶をしあおう。
- ・一週間の食糧、生活必需品の確保を。
- ・防災食より食べなれたものを「ローリングストック」する。

トイレについて

- ・トイレの汚物は生ごみでOK。
- ・性犯罪を防ぐ配慮が必要（男女のエリアを分ける。死角にならない場所での設置）。
- ・マンホールトイレの安全性確保（高齢者や障害者が体重をかけても安全であること）。

ご意見ありがとうございました

SUG カードゲーム参加者数 58名

ご参加いただいた団体（敬称略・順不同）

天沼一丁目町会 本天沼西町会 荻窪川南町会 荻窪東町会
 荻窪中央町会 神明町文化会 松溪自治会 沓掛いづみ会
 荻窪白山親和会防災会 宮前二丁目防災会 宮前三丁目会
 荻窪小学校震災救援所運営連絡会 松溪中学校震災救援所運営連絡会
 荻窪地区民生委員児童委員協議会 天沼地区民生委員児童委員協議会
 宮前地区民生委員児童委員協議会
 杉並災害ボランティアの会 (一社)地域防災コーディネーター育成機構
 (一社)ほっとけない連
 NPO 法人 防災コミュニティネットワーク NPO 法人 みかんぐみ
 NPO 法人 すぎなみ子育てひろば chouchou

講座アンケートの集計結果

講座名：フライパン一つでできるフランス料理講座 講師：天下井康人

(令和4年11月9日 参加者数：18名)

1. 性別： 男性 1人 女性 17人
2. 年齢： 20代ゼロ、30代ゼロ、40代5人、50代4人、60代5人、70代1人、80代以上3人
3. この講座を何でお知りになりましたか（該当するもの全て）？
 - ① 広報すぎなみ 11人
 - ② わたしのおぎくぼ 5人
 - ③ ホームページ・ゼロ
 - ⑤ その他：知人の紹介1人、ロコミ1人、ビストロ天下井1人
4. 荻窪地域区民センターの開催する講座や講演に今回を含めこれまで何回参加されましたか？
 - ① 初めて 11人
 - ② 2回目 1人
 - ③ 3回以上 6人
5. 今回この講座を受けられていかがでしたか？
 - ① 満足した 16人
 - ② 普通 1人
 - ③ 物足りなかった 1人（試食できなかったため）
6. 満足した方の感想をお聞かせ下さい。
 - ・天下井シェフのレシピを教えていただき、しかも簡単！（50代、女性）
 - ・プロ仕様の素材を使って、短い間に3品も作ることができた。プロの手際を目の当たりにすることができた。（50代、女性）
 - ・フランス料理はバター等の濃いソースのイメージがあるが、天下井シェフのメニューは素材の味を生かすヘルシーなもので嬉しかった。（40代、女性）
 - ・家でも簡単に作れそうです。実際にシェフが作っているところを見られてよかった。（40代、不明）
 - ・説明が分かり易かった。下準備は大変そうだが、難しそうではなかった。（40代、女性）
 - ・アシスタントの方も良く動かれてた。（60代、女性）

- ・料理にひと手間かける大切さが良く分かりました。プロの料理を家でも作れることが分かった。(40代、女性)
- ・フランス料理を体験出来て良かった(70代、女性)
- ・これまでお店に伺ってシェフの話を聞くことができなかったのが、今回良い機会だった。(50代、女性)

7. 物足りなかった方はその理由をお聞かせ下さい。
試食できなかったから。(60代、女性)

8. 講座の運営について気付いたことがあればお聞かせ下さい。
- ・協議会の皆様、講座のスタッフの皆様、お疲れさまでした。
 - ・試食をしたかったですが、やむ負えないですね。
 - ・皆様がとても気配りをしてくれてスムーズに進めました。
 - ・多くのスタッフの方が5テーブルを回ってもらい、目配りができていて良かった。

9. 今後どのような講座の開催を希望しますか？

- ・料理教室
- ・平日午前で、パン作りやお菓子作りの講座。
- ・食と安全に関する講座。
- ・料理教室が楽しかったので、またお願いします。
- ・天下井シェフのスイーツ。
- ・また次回も違うメニューで開催して欲しいです。
- ・料理講座が面白かったのが、また開催されれば申し込みをしたいです。

10. 今回の講座におけるコロナ対策について、ご意見があればお聞かせください。

- ・安全を取ったと思いますが、試食ができると尚良かったと思う。
- ・本当はその場で試食をしたかった。
- ・喋らないで食べればよいと思う。
- ・黙食ならその場で食べても良いと思った。
- ・せっかく盛り付けたのに目の前で移し替えるのは凄く残念でした。
- ・他の料理教室ではその場で食べられたのが、ご一考いただけると嬉しい。

講座アンケートのお願い

講座名： いきいき「朗読教室」

講師：岡 摂子

(令和4年10月6、13、20、27日 全4回)

- 性別： 男性 3 女性 12 無回答 1
- 年齢： 40代 50代 60代 2名 70代 8名 80代以上 6名
- この講座を何でお知りになりましたか（該当するもの全て）？
① 広報すぎなみ 13 ② わたしのおぎくぼ 5 ③ ポスター ④ ホームページ
⑤ その他：()
- 荻窪地域区民センターの開催する講座や講演に、今回を含めこれまで何回参加されましたか？
① 1回 2 ② 2回 1 ③ 3回以上 13
- 「朗読教室」には、これまで何回参加されましたか？
① 初めて 5 ② 2回 3 ③ 3回以上 8
- 今回この講座を受けられていかがでしたか？
① 満足した 12 ② 普通 3 ③ 物足りなかった 1
- 満足した方の感想をお聞かせ下さい。
 - ・理解しやすい説明と的確な指導
 - ・先生の適切な指導に感謝。4回2時間という限られた時間内でとても丁寧な指導をいただいた
 - ・短期間でしたが内容は充実していた。今後とも開催を希望。300円は安いので実費を。
 - ・ドラマチックリーディングは耳にしていたが参加してよくわかった。皆さんが生き生き発表されていて触発された
 - ・表現方法や細部にわたり勉強になった
 - ・朗読は面白い。最終日の分け読みは悪かったかなあ
 - ・読み方の指導が良い(2)
 - ・対面ながら席間が広く安心して声が出せた。気がつかない細かいところを指摘くださるのがとても役に立った
 - ・面白い教材で普段気が付かない作品に出合えてうれしく興味を持った
 - ・前回初めての時はドキドキして何だかわからなかったが、今回受けて奥深く感じて次回も受けたい
 - ・新しい作品に出合えたこと
- 物足りなかった方はその理由をお聞かせ下さい。
 - ・遅刻する人がいて進行に支障が出た。受講生には名札をつけて先生がわかるようにしては！
 - ・毎回思うが先生は混乱している。もう少しわかりやすく。時間の配分も考えて進めてほしい

- ・岡先生は好きな先生でもっと教えてほしい。月1回でもあるとよい

9. 講座の運営について気付いたことがあればお聞かせ下さい。

- ・会場設営や心ある対応で満足
- ・内容・料金素晴らしいが、受講できない方が多くいたと聞いて、増やせないかと思った
- ・コロナ対策に気を使われて感謝
- ・担当者はがんばっていて素晴らしい。しかし時間を守るようお願いしたい
- ・年1回ではなく今回抽選に漏れた方のためにもう一度機会をいただくと友人のためにもありがたい(2)
- ・本天沼集会所でも年に2~3回開催してほしい

10. 文学、文芸関連では、今後どのような講座の開催を希望しますか？

- ・近代文学、古典文学など希望。短編小説を読むも良いので今後とも希望
- ・違う先生のも一考ですね
- ・戯曲を読む
- ・毎年この講座をお願いしたい
- ・講談・狂言を聞く機会を

11. コロナウイルス対策について気が付いたことがあれば記入ください。

- ・係員が都度注意していただき安心安全に受講できた
- ・換気が今いち！（寒いと閉められてしまう）最終日は閉め切りだった
- ・手指消毒・検温・マスクとしっかり守って安心できた
- ・マスクがとても邪魔だった

12. 引継ぎ事項

- ・人気の高い講座で、来年以降の継続を望む声も多い

アンケート結果

講座名： 東大アプリで考える首都直下地震 72 時間 講師：田中 淳

日時：令和4年11月6日

会場：第1, 2集会所

参加者数：21名

アンケート回収：20名

1. 性別： 男性 8人 女性 13人
2. 年齢： 40代 1 50代 3 60代 5 70代 9 80代以上 2
3. この講座を何でお知りになりましたか。(該当するもの全て)
① 広報すぎなみ 16 ② わたしのおぎくぼ 3 ③ポスター 0
④ ホームページ 1 ⑤ その他 1 (知人から)
4. 荻窪地域区民センターの開催する講座や講演に、今回を含めこれまで何回参加されましたか。
① 1回 9 ② 2回 0 ③ 3回以上 11
5. 今回この講座を受けられていかがでしたか？
① 満足した 9 ② 普通 6 ③ 物足りなかった 1
6. 満足した方の感想をお聞かせ下さい。
 - ・火災の種類が考えていたものと違って良かった。
 - ・地震だけでなく火災への対策の必要性を実感した。
 - ・火災が最も危険であることが資料と説明から良くわかった。
 - ・実際の音源など聞かせて頂いて実感があつた。
 - ・改めて直下型のパターンがこれまでとどう違うかがわかった。
 - ・直下型は3.11と違い、阪神大震災に近いと知った
 - ・いろいろなことを教えてもらった。
 - ・現状に関しては理解できたが、今後のことも少し聞きたかった。
 - ・過去の地震をもとにしての注意、予測だったのでわかりやすかった。
7. 物足りなかった方はその理由をお聞かせ下さい。
 - ・講師の言葉聞きづらかった。
 - ・もうちょっと具体的なことが聞きたかった。
 - ・防災アプリについてももう少し知りたかった。具体的紹介をして欲しかった。
 - ・時間配分にあつた内容にして欲しい。
 - ・盛りだくさんだったので、さらに長く、深く話を聞きたかった。続編を期待。
 - ・映像の字などが小さくて見えにくかった。

8. 講座の運営について気付いたことがあればお聞かせ下さい。

- ・時間に余裕のある聴講者は、机や椅子の片付けを手伝ってもよいと思った。
- ・教室が少し寒かった。
- ・視聴覚機材をもう少しよく（最新のものに）して欲しい。動画が見られなかったのが残念。
- ・駅からの道順に迷った。案内板を増やすと助かる。

9. 今後どのような講座の開催を希望しますか？

- ・ zoom、youtube などの利用してもっと多くの人に配信して欲しい。
- ・ 防災は定期的に最新情報を提供して欲しい。（同様の希望複数）
- ・ 希望の多かった企画は、外れた人に配慮して、再度開催して欲しい。
- ・ SDGs に関する誰にでもできる簡単な取り組み方
- ・ 自転車にまつわる交通ルール、マナーについて
- ・ 緑化問題
- ・ ツーリズム

10. 申し送り事項

- ・ 講師の熟練度にもよるが、時間配分（質問時間を設けるなど）について、事前に講師の方とある程度打ち合わせをしたほうがよい。
- ・ 視聴覚機材の充実は今後とも訴えていった方がよい。特に、wifi 機能の常設、大型スクリーンの設置は大きな利点となる。

企画書

タイトル 「荻窪の記憶Ⅴ～エピローグ・発展と変貌～」

形式 パネル展示（展示内容を収録した冊子も発行の予定）

主催 荻窪地域区民センター協議会（注）

住所 〒167-0051 杉並区荻窪 2-34-20 電話 03-3398-9127

協力 杉並区立郷土博物館分館（同博物館の区民参加型展示として開催）

展示 場所 荻窪地域区民センター ロビー

期間 令和4年12月14日（水）～令和5年1月16日（月）

場所 杉並区立郷土博物館分館 西棟1階展示室

期間 令和5年1月21日（土）～令和5年3月19日（日）

※ 展示は観覧無料、冊子は無料で配布します。

<展示の趣旨>

荻窪地域区民センター協議会では、地域の人々の協力を得て、郊外住宅地・荻窪の歴史を掘り起こし、後世に伝えるプロジェクトに取り組んでおり、パネル展示はその成果の一端を地域の人々に紹介するものです。

<内容>

第5回を迎える今回は、シリーズの締めくくりとして、これまで触れてこなかった地域、戦中・戦後という時間をカバーし、新たな切り口から荻窪の発展を振り返ります。

（注）荻窪地域区民センター協議会は、杉並区の施設である地域区民センターを活用し、住民相互の交流を促進するため、住民がボランティアで活動する組織です。

◎「荻窪の記憶V～エピローグ・発展と変貌」第9回打合せ結果

日時：2022年11月18日（金）午後1時～2時30分

場所：区民センター打ち合わせ室

出席：サポーター・松井、丸川

区民センター協議会委員・横尾、西村、菊野、伊藤、松崎
郷土博物館分館・市川

サポーターの新倉、木村両氏が欠席のため、パネル原稿の詳細なチェックはせず、以下の通りパネル構成を再確認した。パネルは計49枚で、担当者は以下の通り。

<荻窪の記憶V エピローグ・発展と変貌>（パネル計49枚）

はじめに（担当・松井、パネル1枚）

第一章 発展と変貌（パネル計26枚）

■交通と街の発展（担当・新倉、パネル10枚）

- ・荻窪駅の歴史
- ・バス路線
- ・都電杉並線
- ・地下鉄荻窪線
- ・天沼陸橋

■商店街の変遷（パネル計12枚）

<北口>（担当・松井、パネル6枚）

- ・原点は戦後のマーケット
- ・中央線のアメ横・新興マーケット
- ・タウンセブンの誕生

<南口>（担当・菊野、西村、繁田園元店長作成地図を含めパネル4枚）

- ・お屋敷町の商店街（担当・菊野）
- ・南口に70年・繁田園元店長の回想（担当・西村）
- ・回想地図・昭和の南口商店街（担当・菊野）

<バス通り沿いの商店街>（担当・新倉、パネル2枚）

- ・大踏切～川南～上高井戸4丁目

■ 荻窪団地の誕生（担当・木村、パネル4枚）

- ・ 田んぼと団地
- ・ 憧れの団地生活
- ・ 住み心地、そして・・・
- ・ 時は流れて

第二章 戦争と平和への願い（担当・松井、パネル計6枚）

<2.26 事件>（パネル2枚）

- ・ 荻窪にもあった2.26 事件
- ・ 軍人町と事件の波紋

<戦災の記憶>（パネル2枚）

- ・ 荻窪も燃えた
- ・ 戦災と証言

<原水爆禁止署名運動>（パネル2枚）

- ・ オーロラの碑と署名運動
- ・ 荻窪が署名運動の中心に

第三章 時代を映す川と水路（担当・丸川、パネル計4枚）

- ・ 善福寺川
- ・ 川の思い出
- ・ 昭和・平成の善福寺川
- ・ 千川用水分水と界掘

第四章 ゆかりの人々（担当・新倉、松崎、パネル計9枚）

- | | |
|-----------------------|-------|
| ・ 荻窪ゆかりの人々地図 | 担当・新倉 |
| ・ 明田川孝（彫刻家） | 担当・新倉 |
| ・ 池田淑人（洋画家） | 担当・新倉 |
| ・ 江田三郎（政治家） | 担当・松崎 |
| ・ 近藤富枝（作家） | 担当・新倉 |
| ・ 鈴木信太郎（洋画家） | 担当・新倉 |
| ・ 竹下彦一（柔道家・詩人） | 担当・松崎 |
| ・ 朝永振一郎（物理学者・ノーベル賞受賞） | 担当・松崎 |

- ・三谷十糸子（日本画家） 担当・新倉
- ・宮田輝（アナウンサー、国会議員） 担当・松崎
- ・棟方志功（版画家） 担当・新倉
- ・山口泉（荻窪に工芸店と「いずみ喫茶店」を開く） 担当・新倉

番外編「失われた荻窪の名建築」（担当・菊野、パネル計2枚）
あと書き（パネル1枚）

<パネル作成の作業日程>

- 11月19日（土） 松崎までパネル原稿送付
- 11月21日（月） 松崎から郷土博物館分館へパネル原稿提出
- 12月5日（月） 郷土博物館分館によるパネル原稿校了
- 12月6日（火） 松崎から赤字の入った原稿を担当者へ送付。担当者は修正原稿を松崎まで送付。松崎から分館へ修正原稿提出
- 12月13日（火） 郷土博物館分館で協議会メンバーも参加し、パネル作成
作成したパネルを区民センターへ搬送
- 12月14日（水） 区民センターで展示開始（1月16日（月）まで）
- 12月中旬 分館展示用のポスター・チラシ発送
- 1月20日（金） 分館で展示用パネルの設営
- 1月21日（土） 分館でのパネル展示開始（3月19日（日）まで）

2022年度 協議会の行事・イベント・講座等の広報部担当(写真・記事等)一覧表



進 捗	月	開催日	名称	web 申込	管理 No.	締切	担当 部署	担当者	広報担当	備考	
済	4月	4/26㊥	定期総会	-	-	-	総務	大矢	西村(横尾)	-	
済	5月	5/14㊥	野外講座「武蔵野の面影を探して」	有	A01	5/1㊥	事企	菊野	西村(松崎)	No.356	
済		5/18.25.6/8.15㊥	読書会 最高の短編小説を読む	有	A02	5/8㊥	事企	染谷	松崎	No.356	
済		5/28㊥	季節の草花の寄せ植え (洋風)	有	403	5/15㊥	事企	熊谷.香取	伊藤	No.356	
済	6月	6/5㊥	おぎくぼセンター祭	-	-	-	地交	萬	横尾(全員)	No.356	
済			プラネタリウム	有	A04	5/22㊥				No.357	
済		6/8.15.22.29㊥	リズム&ストレッチ	有	A05	5/29㊥	事企	本田	横尾	No.356	
済		6/16㊥(1回目)	自然探訪(善福寺池の四季)第1回	有	A06	6/7㊥	事企	弘中	西村	No.357	
済	7月	7/4㊥13:35~	講談出前授業 (沓掛小)	-	-	-	事企	堀川.本田	松崎	-	
済		7/31㊥	さいえんす縁日	有	A07	7/17㊥	事企	恵羅	松崎(横尾)	No.357	
済	8月	8/3.10.17.24㊥	ハーモニーを楽しむヴォイストレーニング	有	A08	7/17㊥	事企	本田	伊藤	No.357	
済		8/6㊥(10~13)	インドネシアを楽しもう	-	-	-	事企	熊谷	伊藤(松崎)	No.357	
済		①10-11,11:30-12:30	①作って遊べる工作自由研究	有	A09	7/17㊥					
済		②10~12:30	②パティックパンダナ制作体験	有	A10	7/17㊥					
済		③10:30~12:30	③インドネシア家庭料理調理実習	有	A11	7/17㊥					
済		8/13㊥	講談鑑賞会	有	A12	7/31㊥	事企	堀川.本田	伊藤	No.358	
済		8/28㊥	地域交流会「こみゆに亭カフェ」	有	A13	8/14㊥	総務	大矢	西村	No.358	
済	9月	9/15㊥	文学講座「アメリカ文学は夫婦愛から始まる」	有	A14	8/28㊥	事企	菊野	松崎	No.358	
済		9/17.24.10/1.8㊥	初心者のための俳句教室	有	A15	9/4㊥	事企	本田	西村	No.358	
済		9/17.10/1㊥	文学講座「与謝野晶子と源氏物語」	有	A16	9/4㊥	事企	菊野	松崎	No.358	
済		9/21㊥	クリーン大作戦	-	-	-	総務	船津	横尾・西村	-	
済		9/24㊥.25㊥	アート展 (注:締切日は出展申込)	-	-	8/10㊥	地交	萬	横尾(全員)	No.358	
済	10月	10/6㊥(2回目)	自然探訪(善福寺池の四季)第2回	有	A17	9/25㊥	事企	弘中	西村	No.358	
済		10/6.13.20.27㊥	いきいき朗読教室 (本天沼集会所)	有	A18	9/25㊥	事企	染谷	松崎	No.358	
済		10/23㊥	防災フォーラム	防災講演会	有	A19	10/9㊥	事企	染谷.弘中	横尾(西村)	No.359
済				防災カードゲーム	有	A20	10/9㊥				
済	10/30㊥	マルシェ&ハロウィン子どもまつり	-	-	直接会場	地交	萬	横尾(全員)	No.359		
済	11/5㊥	荻窪音楽祭「地域ふれあいアタラシコンサート」	-	-	先着順	地交	萬	横尾	No.359		
済	11/5㊥	あそび市 (会場松溪中学) 缶バッジ	-	-	-	有志	恵羅染谷	松崎	-		
済	11/6㊥	東大アプリで考える首都直下地震72時間	有	A21	10/23㊥	事企	恵羅	伊藤	No.359		
済	11/9㊥	ライブ1つでできるフランス料理講座	有	A22	10/30㊥	事企	堀川	西村	No.359		
済	11/24.12/1㊥	大人のワイン講座	有	A23	11/6㊥	事企	堀川	西村	No.359		
締	11/26㊥	荻窪健康サロン	①ヨガ教室	有	A24	11/6㊥	事企	染谷	松崎	No.359	
締			②立川抜志落語会	有	A25	11/6㊥					
締			③アンデス音楽	有	A26	11/6㊥					
締	11/27㊥	秋を楽しむ木の実工作教室	有	A27	11/13㊥	事企	染谷	伊藤	No.359		
募	12月	12/2.9.16㊥ (3回)	背骨を整えよう腰痛スッキリ体操	有	A28	11/20㊥	事企	熊谷	横尾	No.359	
募		12/11㊥	荻窪寄席	有	A29	11/27㊥	事企	染谷	西村	No.359	
募	12月	12/6㊥~11㊥	区制90周年記念事業「原水禁運動パネル展」	-	-	直接会場	事企	事務局	横尾	No.360	
		12/14㊥~1/16㊥	荻窪の記憶V ロビー・パネル展示	-	-	直接会場	PJ	菊野	松崎	No.360	
	1月	1/12㊥(3回目)	自然探訪(善福寺池の四季)第3回	有	A30	12/18㊥	事企	弘中	西村	No.360	
		1/21㊥~3/22㊥	荻窪の記憶V 郷土博物館分館展示	-	-	直接会場	PJ	菊野	松崎	No.360	
		2/2㊥	ひらやすかつこが歌う日本の歌世界の歌	有	A31	1/22㊥	事企	堀川	伊藤	No.360	
2月	2/5㊥	地域懇談会	-	-	直接会場	総務	大矢	横尾	No.360		
	2/26㊥	本天沼集会所まつり	-	-	-	地交	萬	横尾(全員)			
4月	4/21㊥(4回目)	自然探訪(善福寺池の四季)第4回	-	-	-	事企	弘中	西村			



P1

2023 2月・3月 No.361 3月14日発行

2月26日(日)開催案内 担当:伊藤

2月~6月スケジュール 担当:横尾

P2

「文武二道」と「自主自健」が教育理念 「国際社会で活躍できる人間の育成」を目指す 東京都立西高等学校

★近隣の高等学校訪問 連載第8回 都立農芸高校 担当:伊藤

開催案内:4/21(木) 善福寺池の四季 第4回春 担当:西村、事業企画:弘中

P3

連載第27回 松井氏 担当:横尾

イベント報告 担当:横尾 マルシェ&ハロウィン子どもまつり

イベント報告 担当:横尾

P4

1件? 担当:西村

荻窪の記憶V パネル展報告 担当:松崎

荻窪の記憶 総集編 冊子発行予告 担当:西村

郷土博物館分館 岩井さん(横尾)

- 12/21(水) 入校
- 1/20(金) 校了・進行指示
- 1/31(火) 発刊

No.361 わたしのおぎくぼ2023年2月・3月号 P1これからのスケジュール掲載案(追加が必要)

1月

これからのスケジュール

- 21日(土) 3月19日(土) パネル展示
「菟達の記憶」～「たろーく」発表と巻頭
会場: 郷土博物館分館西棟1F展示室

2月

- 2日(土) 二階会スツラウ「握手
ひらみちがたが歌う日本の歌と世界の歌」
- 5日(土) 「地域懇談会」
- 26日(土) 玉手沼集会所まつり
会場: 玉手沼区民集会所

3月

- 14日(土) 「広報紙わたしのおぎくぼ」
№362 4月・5月号発行

4月以降

- 31日(土) 「菟達の記憶 総集編」発刊
- 31日(土) 「菟達地域区民センター協議会
活動報告2月号(令和三年度・四年度)」発行

4月以降

- 4月21日(土) 「善福寺の四季 第4回 春」
集合場所: 善福寺公園上の池ホート乗場
- 5月30日(土) 「広報紙「わたしのおぎくぼ」
№363 6月・7月号発行

※イベント・講座等は変更になることもあります。
※会場が明記されていないものは全て会場は菟
達地域区民センターです。
※問い合わせ先: ●事業企画部 ●地域交流部
●広報部 ●総務部

- 定期総会の日程は?
- おぎくぼセンター祭の日程は?
- 講座関係で掲載するものは?

その他、掲載すべきものは?
※2月～6月が対象期間です

【参考】 No.360 2022年12月・2023年1月号 (11月29日(火)発行) P1これからのスケジュール掲載内容

12月

これからのスケジュール

- 2日・9日・16日(土)
「握手を交えよう! 握手スツキリ体操」
講師: 藤原 隆夫(音楽)・三浦 浩二(ダンス)
- 6日(土)・11日(土) 当センター玄関ロビー
「菟達区創設100周年記念事業
原水機禁止運動運動パネル展」
- 11日(土) 「政経懇談会」
講師: 藤原 隆夫(音楽)・三浦 浩二(ダンス)
- 14日(土) 3月19日(土) パネル展示
「菟達の記憶」～「たろーく」発表と巻頭
場所: 当センター玄関ロビー

令和5年1月

- 12日(土) 善福寺池の四季 第3回 現地集会
- 21日(土) 3月19日(土) パネル展示
「菟達の記憶」～「たろーく」発表と巻頭
会場: 郷土博物館分館西棟1F展示室
- 31日(土) 「広報紙「わたしのおぎくぼ」
№361 2月・3月号発行

2月

- 2日(土) 二階会スツラウ「握手
ひらみちがたが歌う日本の歌と世界の歌」
- 5日(土) 「地域懇談会」
- 26日(土) 玉手沼集会所まつり
会場: 玉手沼区民集会所

3月

- 14日(土) 「広報紙「わたしのおぎくぼ」
№362 4月・5月号発行

※イベント・講座等は変更になることもあります。
※会場が明記されていないものは全て会場は菟
達地域区民センターです。
※問い合わせ先: ●事業企画部 ●地域交流部
●広報部 ●総務部

